



# アメリカPGAツアー「ザ・プレーヤーズ・チャンピオンシップ」 “コース管理”体験レポート

米  
国  
P  
G  
A  
ツ  
ア  
ー  
「  
ザ  
・  
プ  
レ  
イ  
ャ  
ー  
ズ  
・  
チ  
ャ  
ン  
ピ  
オ  
ン  
シ  
ッ  
プ  
」

2019年3月14日からフロリダ州ポンテ・ベドラ・ビーチにあるTPCソーグラス（フロリダ州）のスタジアムコースにて開催された第5のメジャーと呼ばれるPGAツアー、ザ・プレーヤーズ・チャンピオンシップの大会作業に参加して参りましたのでレポートをさせていただきます。今大会の開催コースである、TPCソーグラススタジアムコースにてメインで使



バック9の17番Hギャラリースタンド



ウォークスプレイヤー

用されている管理資材やその手法を、私が務めるコースに於いても行っていてメーカーからオファーをいただいたのがきっかけとなり、今回の参加に繋がりました。さて、第5のメジャーといわれるこの大会は、これまでに46回開催されておりTPCソーグラススタジアムコースでの開催は38回となっています。開催当初の1974年には9月、1975年は8月、1976年は2月に開催されましたが、ポンテ・ベドラ・ビーチで開催されるようになった1977年から2006年までの30年間は3



プレイヤーズ液晶パネル

月に開催されてきました。2007年から2017年までの11年間は5月に行われてきたのですが、2018年からは再び3月に開催されています。賞金総額は世界最高額である約12億円、優勝賞金は約2億円、フェデックスカップポイントは600ポイント、世界ランクポイントは80ポイントとなっていて、この大会を制した選手には、PGAツアーの5年シード、マスターズ、全米オープン、全英オープン、全米プロゴルフ選手権の四大メジャーの3年間の出場権が与えられるなど、大変価値あるビッグトーナメントになっています。



広大なナーセリー

## TPCソーグラス、 メインはバミューダグラス

す。因みに、今大会へ出場した日本人選手は松山英樹選手と小平智選手の2名でした。ヤーデージについては2007年から2016年の10年間はパー72、7215ヤードで行われていましたが、第5のメジャーとしての格をあげるために、コースの難易度を高める改修が行われた2017年からはパー72、7189ヤードに変更されています。

ソーグラスのメインターフはバ

ミューダグラスであり、フェアウェイ、ラフ、ティ、グリーンの手すべてがそれとなっています。品種についてはティフトン328というゴルフ場用に開発された栄養繁殖系のハイブリッドバミューダグラスです。ご存知の方も多いと思いますが、西洋芝の一種である暖地型芝草で暑さに強い夏芝ですが冬は地上部が枯れてしまいます。よって、3月時点では緑度が完全ではない為、今大会ではウインターオーバーシードの定番品種であるペレニアルライグラスがオーバーシードされています。ペレニアルライグラスは寒地型芝草の西洋芝であり耐暑性が弱い特徴から夏と冬でメインの芝を切り替えるのにたいへん適した品種となります。また、グリーンに関しては今回、ティフイーグルとポアトリビアリ



バック9の18番Hティ

スの2品種をオーバーシードしたそうです。刈高は、フェアウェイ9mm、ファーストカット23mm、ラフ70mm、ティ8mm、グリーン2・5mmでした。オーバーシードに使用された種の総額が約1億円ということには大変驚かされました。壮大なスケールで緻密に行われたオーバーシードからもコース内のターフコンディションはまさに最高であったと感じました。

大会に参加したコース管理のボランティアは120名

今回各国より参加したボランティアは総勢約120名で、ゴルフ場関係者やグリーンキーパーなどの芝草管理者、また大学で芝草学科を専攻しているインターンなど様々な業界関係者が数多く集まりました。日本から参加したグリー

ンキーパーは私を含め3名で、他に3名の関係者に帯同して頂きました。ワークスケジュールにもありますが、到着初日夕方にミーティングが行われ、ユニフォームその他の備品配布がありました。その際配られた中身はたいへん充実しており、バッグをはじめとして、大会期間中の作業にて着用するユニフォームシャツ7枚、これは毎日違う色を指定で

WORK SCHEDULE	
ALL SCHEDULED TIMES ARE TENTATIVE AND SUBJECT TO CHANGE AT ANY TIME.	
<ul style="list-style-type: none"> <li><b>Morning shifts:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Start: 6:45 a.m., meeting and begin work 8:00 a.m.</li> <li>Finish: Approximately 8:00 a.m.</li> </ul> </li> <li><b>Afternoon shifts:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Start Time: Can vary depending upon evening events.</li> <li>Finish: Approximately 8:30 p.m. - 9:00 p.m.</li> </ul> </li> <li><b>No Between shifts:</b> It is your personal time. You can watch golf, go back and out at the hotel or explore the area.</li> <li><b>Inclusion weather events:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>If inclusion weather is reported, we ask that everyone stay on property and within context, so we can be prepared to repair the golf course for play.</li> </ul> </li> </ul>	
DAILY SCHEDULE:	
Friday, March 8 <sup>th</sup>	
STAFF - 8:30 a.m. - 5:00 p.m. (no finish)	
ALL Volunteer Arrivals on Friday must go to the Hotel - do not come to the ACC.	
* If you arrive on Friday and wish to work on Saturday you must inform Julie Mowling at the hotel by 5:00 p.m. Friday night so we can schedule and plan accordingly. *	
Saturday, March 9 <sup>th</sup>	
STAFF - 5:30 a.m. - 4:00 p.m. (dependent of an earlier finish)	
* Volunteers who Arrived Friday will be Dropped Off at 5:15 a.m.	
* All volunteers arrive at hotel to check-in and be identified to the ACC.	
* Volunteers Arrive at ACC: 5:30 p.m. - 4:00 p.m. via Shuttle Bus from Hotel.	
o Dinner served by Board Equipment	4:15 p.m.
o Welcome Volunteers Opening Remarks	4:45 p.m.
o Volunteers Depart for Hotel and Home	6:00 p.m.
Sunday, March 10 <sup>th</sup>	
* <b>DAYLIGHT SAVING TIME BEGINS AT 2:00 AM!</b>	
o FULL DAY OF WORK - No light shift	
o Arrival	6:45 a.m.
o Meeting	6:55 a.m.
o Sign for Departure to Course	6:55 a.m.
o Lunch	11:30 a.m. - 12:30 p.m.
o Departure for Hotel and Home	6:00 p.m. - 6:30 p.m.
Monday, March 11 <sup>th</sup> (Practice Round 1)	
o Arrival	6:45 a.m.
o Meeting	6:55 a.m.
o Sign for Departure to Course	6:55 a.m.
o Work AM Assignments	8:00 a.m.
o Breakfast	8:30 a.m. - 9:30 a.m.
o Course Speaker	9:30 p.m. - 1:30 p.m.
o Dinner	1:30 p.m. - 4:30 p.m.
o Meeting	4:30 p.m.
o Sign to go to Golf Course	4:45 p.m.
o 2nd Assignments	5:00 p.m.
o Depart for Hotel and Home	THD
Tuesday, March 12 <sup>th</sup> (Practice Round 2)	
o Arrival	6:45 a.m.
o Meeting	6:50 a.m.
o Sign for Departure to Course	6:55 a.m.
o Work AM Assignments	8:00 a.m.
o Breakfast	8:30 a.m. - 9:30 a.m.
o Course Speaker	9:30 p.m. - 1:30 p.m.
o Dinner	1:30 p.m. - 4:30 p.m.
o Meeting	4:30 p.m.
o Sign to go to Golf Course	4:45 p.m.
o 2nd Assignments	5:00 p.m.
o Depart for Hotel and Home	THD

ワークスケジュール

着るものになっており、全員が毎日統一したものを着用しました。他に防寒用ウェア、レインウェアも支給されました。さらに、ヘッドライト、UVカット、ファーストエイドキットまであり、ボランティアスタッフに対するケアは、宿泊施設や食事面なども含め、そのすべてに於いて非常に優れていると感じました。翌日早朝4時50分より



ディレクター

ミーティング開始、その後コースへ移動して各パートに分かれて作業プラクティスを行い、どのように作業を進めるべきかなど細かい部分までの確認を行いました。初日は大会、練習ラウンドともに開催前であったことで、早朝から夜間までほとんど休みなく作業が行われました。昼食休憩40分以外は休みなく作業を行いましたので、はつきり申し上げて相当ハードな作業スケジュールであったと言えますでしょう。私達のグループは主に、バンカー整備や自走モアを使用するのラフ刈込を担当しました。



バック9の17番Hアイランドグリーン



自走ラフ芝刈

大会開始後からは、ディボットへの目土作業やローピング整備などの作業も割り当てられました。

コース設計は世界的にも知名度が高いゴルフコース設計家の一人であるピート・ダイ。日本のゴルフコースの設計を数多く手掛けていることからご存知の方も多いことかと思えます。そのコースレイアウトは大変素晴らしく独創的。コースを望むと池に映し出される空や景色が何とも言い難い素晴らしい印象でした。また、そのサイドに配されたクロスバンカーは世



クロスバンカーとFW



フロント9の3番Hガードバンカー



界の一流選手にプレッシャーをかけ続けるイメージが湧きました。さらには、たとえフェアウェイにボールが行ったとしても、ターゲットポイントを少し外れるだけで独特のアンジュレーションやバンカーに捕まってしまふなど、コース難易度は非常に高いものであると感じられました。そのすべてがトップレベル選手たちのほんの小さなミスを許すことなく大変シビ



自走ラフ芝刈

ながらなんとか刈り終えます。作業終了時間が21時過ぎることなどは至極当たり前でした。このようにビッグトーナメント開催の裏側にあるコースメンテナンスには、あくなき追従があるということをお後も私個人として多くの方にお伝えしていきたいと考えています。

**今大会に使用されていた  
コース管理機械について**

アに配置されており、それは真の意味でゴルフファーに対してフェアであるという印象を強く受けました。コース内のラフに関しては期間中、全面自走刈りで行われたことから、かなりのハードワークになりました。ラフ芝刈は自走のハンドモアを使用している、作業が終了する頃には、たいてい真つ暗闇となっていて、投光器などを使用し



ステインプメーター



投光器ラフ芝刈



格納庫乗用3連モア

ここから、使用されていた管理機械やそのメンテナンスなどに関する少し触れていきたいと思えます。当然と知りながらもやはり驚いてしまうのはその所有台数です。写真にもあるように、メーカーはJOHN・DEEREで統一されています。所有機械の統一は私の所属コースでも推し進めてきておりますが、管理がしやすくなり、メンテナンスなどの面に於いても非常に効率が良くなると感じます。作業後の給油や洗車などの時間が短縮できるよう燃料補給のみが行える給油スタンドには、



給油洗車



給油スタンド

ゴルフコースのエキスパートとして47年  
リニューアルからメンテナンスのアウトソーシングまで

## 実績と責任、そして高いクォリティー

お客様のニーズにお答えします

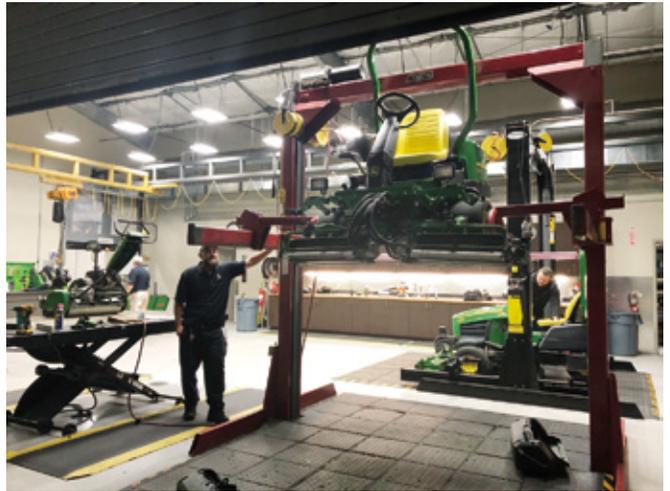
 蛭川造園土木株式会社

関東・関西・沖縄 展開中！

本社 兵庫県宝塚市山本西 3-2-11  
Tel. 0797-88-1918 Fax. 0797-89-7133  
hirukawa@hirukawa.jp



自走グリーンモアのメンテナンス



乗用のメンテナンス



JOHN・DEEREメンテナンスカー

給油と同時にそのまま洗車ができる箇所もありました。コース内管理作業にしてもそれは強く感じられました。が、機械メンテナンスなどに於いてもそのすべてがたいへん効率よく行われているとの印象をもちました。メカニックススタッフはコース内管理作業をする側と違い、機械が戻った後の夜間にも作業を続けていました。メンテ

ナンスを行う工場内はとても広く整然としていて、作業が行いやすい環境がここでも整っていると感じられました。自走のグリーンモアは完全に台上面にて整備がなされています。また、大会期間中はJOHN・DEEREのメカニックス専門スタッフもそこに常駐していました。

**ボランティースタッフ個人のレベルが高い**

スタッフ間のコミュニケーションなどに関しては、さほどの苦労がありませんでした。ここに關して言えるのは、やはりスタッフ個人のレベルが非常に高いことが大きく関係していたように思えます。コーススタッフの指示系統がたいへんしっかりしていたことに加えて、各作業班のリーダー達への連絡などもきちんとされていました。そしてボランティースタッフの多くが普段グリーンキーパーや



グリーン芝刈

芝草管理関係者であるなどのことから、作業進行は非常にスムーズであり、且つ、その品質も高いレベルにあったと感じられました。また、長い時間を共にしていることから、日を重ねていくうちにスタッフ間での連帯感が深まっていくことも当然であったと言えるのではないのでしょうか。

国内のトーナメントと比べてみ



バンカーズ



カップ切り替え

今回の経験は私にとっても非常に大きな意味があり、そこで見たものや感じ取ったものすべてを今後、ゴルフ業界に携わる者として大いに生かし、それを伝えていくことが出来ればと考えております。芝草管理者としても、スポーツターフとしてだけではない、素晴らしいターフ文化を広めていくことが出来れば、さらにその意味も深まるのではないかと感じています。

ると、ギャラリーの雰囲気もかなり違うといった印象を受けました。もちろんそこにはビッグトーナメントだという要素もあるとは思いますが、しかし、それ以外の違いも感じ取れたことは間違いないでしょう。単純に観戦に来ているというだけではなく、その雰囲気をお祭りのように楽しんでいる姿は印象的であり、小さな子供たち、若い世代の姿もかなり多くみられました。



インサイド



ギャラリー

**Golf Course Accessories**  
**STRONG®**

**水袋、水バケツ**

お客様がクラブヘッドを洗う為に必要な水袋と水バケツです。当社では新商品として新たに水袋タイプの 2 種類が登場しました。  
従来の水バケツタイプを含め用途や設置場所に応じてお選びください。

**711-W**  
EVA水袋  
210φ×190mm  
グリーン  
EVA素材製  
定価：918円

**711-WG**  
グリーン水袋  
200φ×190mm  
ダークグリーン  
ナイロン製  
定価：1,339円

**711-D**  
水バケツ  
175φ×190mm  
グリーン  
樹脂製  
定価：864円

※定価はいずれも本体価格です。

**TEL.072(858)5155(代) FAX.072(858)6001**

〒573-0112 大阪府枚方市尊延寺2丁目26-2 ホームページ <http://www.strong-golf.jp> **ストロング商事株式会社**